

令和6年度事業実施状況報告

I. 定款4条、第1項、第1号に定められた科学技術に関する学術研究振興を目的とする事業（いわゆる 公益事業）として、下記の事業を実施した

1. 研究助成事業（科学技術試験研究助成、村田基金研究助成）
2. 研究寄附金事業
3. 共同研究事業
4. 研究成果の公表、科学技術情報の提供事業（財団ニュース）
5. 大学と地域社会、産業界との技術的交流事業（科学技術交流会）

を実施した。その詳細は次の通りである。

1-1. 科学技術試験研究助成

助成対象者の氏名、所属、研究助成テーマ等を下表にまとめた。

氏名	所属	研究助成テーマ	助成金額
光野 徹也	静岡大学 工学部	粒子添加ミスト CVD 法による可視光応答 GaN-ZnO 固溶体光触媒作製の新手法	¥500,000
疋田 智也	静岡県立大学 薬学部	細胞外小胞による臓器間ネットワークの解明と その生理学的意義	¥500,000
小野 篤史	静岡大学 工学部	4 大学フォトニクス技術交流会	¥500,000

1-2. 村田基金研究助成

助成対象者の氏名、所属、研究助成テーマ等を下表にまとめた。

氏名	所属	研究助成テーマ	助成金額
鳴海 哲夫	静岡大学 工学部	B 型肝炎ウイルス粒子形成を阻害するペプチド性 カブシド集合阻害剤の創出	¥500,000
丸山 友美	静岡大学 情報学部	「高柳健次郎」研究記録のデジタルアーカイブを 用いたメディア論的研究	¥500,000
稻垣 圭吾	浜松医科大学 医学部	介護老人福祉施設における対話型 AI を活用した パーソン・センタード・ケアによる対応の成功事 例共有システムの構築	¥500,000

1-3. 研究寄附金助成

企業等から教育研究を奨励するため、金銭の寄附を受け付けている。この寄附金を「研究寄附金」と呼び、今年度は、1件の研究寄附金を受け付けた。

寄附者名	研究タイトル	寄附金額
オフィスミヤタ	河川巡視に係るドローン撮影データ利用に関する研究	¥370,000

1-4. 共同研究事業

産学官の連携による技術開発、研究開発をした成果を新技術・新製品に結びつけるため、財団が研究開発テーマを提示して、賛同する企業等や研究者を募集する「共同研究事業」には、今年度は下記の共同研究を実行した。共同研究事業の研究タイトル、研究相手、事業金額等を下表にまとめた。

共 同 研 究 事 業 名	共同研究相手	金 額
スクロール圧縮機の運転時挙動に関する研究	パナソニック株式会社	¥880,000

2. 研究成果の公表、および科学技術情報の提供事業

2-1 科学技術情報誌の制作、および発送

- 財団ニュース、第 26 号を 11,000 部作成 作成費用 ¥473,000
- 財団ニュース（第 26 号）10,376 部発送 発送費用 ¥109,930

3. 大学等と研究機関、地域社会および産業界との知的および技術的交流事業

大学等と研究機関、地域社会及び産業界との知的及び科学技術的交流の促進事業として、科学技術、研究成果等の提供並びに参加者が相互に意見交換、懇談等を行うため「科学技術交流会」と名乗った会を県内の四ヶ所で開催した。（総経費 ¥1,080,000） その詳細は次の通り。

3-1 「科学技術交流会、浜松」

- 令和 6 年 5 月 18 日（土）、東京大学大学院総合文化研究科、東京大学先端科学技術研究センター教授、瀬川浩司先生を講師に、浜松工業会 浜松支部と共に実施した。（経費： ¥400,000、約 80 名参加）
- 講演タイトル：2050 年のカーボンニュートラルに向けて
～ペロブスカイト太陽電池が拓く未来～

3-2 「科学技術交流会、静岡」

- 令和 7 年 2 月 7 日（金）、工学部教授、野口季彦先生を講師に、浜松工業会 静岡支部と共に実施した。（経費： ¥400,000、約 80 名参加）
- 講演タイトル：Prospect of Electric Vehicles Bleak or Rosy?
電気自動車の展望 灰色かバラ色か

3-3 「科学技術交流会、沼津」

- 令和 6 年 7 月 27 日（土）、工学部准教授、松尾廣伸先生を講師に、浜松工業会 沼津支部と共に実施した。（経費： ¥200,000、約 30 名参加）
- 講演タイトル：再生可能エネルギーだけで構成されるマイクログリッドの構築と運用

3-4 「科学技術交流会、富士」

- 令和 6 年 9 月 7 日（土）、情報学部准教授、狩野芳伸先生を講師に、浜松工業会 岳南支部と共に実施した。（経費： ¥80,000、約 25 名参加）
- 講演タイトル：生成系 AI の現状と利用～自然言語処理研究から見た今後～

4. その他の事業

静岡商工会議所・静岡大学浜松キャンパス・浜松科学技術研究振興会の交流会

令和6年11月22日（金）15:00～高柳記念未来技術創造館ホール

静岡県内産学官の研究者、技術者等の交流を促進し、新技術の研究、開発、実用化等の推進を目的に、静岡大学浜松キャンパスの研究者と、静岡商工会議所の製造業部会メンバーとの交流会を実施した。（約35名参加）

講演1 「複合現実（Mixed Reality）を活用した不可視光情報の3D空間表現」

静岡大学情報学部情報科学科 電子工学研究所 助教 加瀬 裕貴 氏

講演2 「カーボンナノチューブの革新技術と産業応用～未来の製造業を支える最先端研究～」

静岡大学工学部電子物質科学科 教授 井上 翼 氏

II. 定款4条、第1項、第1号に適合しない事業（いわゆる 収益事業）として、下記の事業をおこなった

1-1 委託事業

産学官の連携による技術開発、研究開発をした成果の中から、企業が研究開発テーマを選定し、共同で研究がはじまる「委託研究」は、今年度受入れがなかった。

1-2 団体等の業務受託事業

浜松工業会（静岡大学工学部・情報学部 同窓会）から、会員管理業務、総会・理事会等の会議業務などの事務管理業務を受託した。
(業務受託受入額、¥3,600,000)